

2020年12月24・25日 クリスマスイブ礼拝

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 讚美歌111番「もろびとこぞりて」
(いざ歌え)(来たれイエスを)(Jesus)

主の祈り

聖 書 24日: マタイによる福音書2章1~12節 (P2)
25日: ルカによる福音書2章6~12節 (P85)

音 楽 ソウルマティックス(池末信氏他)

メッセージ 24日: 「キリスト誕生と不忠臣蔵の解説」 大川従道牧師
25日: 「飼葉おけの救い主」 大塚信頼先生

賛 美 讚美歌109番「きよしこの夜」(献金)
頌 栄 「Holy, Holy, Holy. And He shall reign forever and ever,
King of Kings, and Lord of Lords」 Amen

祝 禱

メリークリスマス！ 主の御聖誕を祝い、
天よりの祝福を心からお祈り致します。

二〇二〇年Xマス

主任牧師 大川従道・道子
伝道牧会者一同

【大和ニュース】

☆メリークリスマス！！

今晚の「イブ礼拝」はeveningのこと。Christmasは、Christ(キリスト)のmas(ミサ・礼拝)の意味です。イエス様がお生まれになられた地方では、ユダヤ暦が使われており、1日は朝からでなく、夜から始まります。ですから、24日の夜から25日の夕方前までが、キリスト誕生の日となり、24日の夜も、25日の朝も「当日礼拝」ということです。(数日前の朝日新聞にのっていました。)

*「当日礼拝」は25日朝10時半から始まります。イブ礼拝の予約がとれなかった人、夜の外出を控えている人々のための礼拝です。予約がとれなかった方々は、ユーチューブで視聴して下さい。

*「日曜礼拝」は、一年中、7時、9時、11時と3回礼拝です。コロナから解放されるまでは、予約制です。毎週、ユーチューブが世界中で視聴されています。

・「初詣礼拝」は1月1日、9時と11時。2日も9時と11時。説教は大川牧師。(予約は30日)

石の枕

英国のウェールズ地方の小さな町にこんな話があります。毎年クリスマスイブになると人々が教会に集まり祈りを捧げていました。

真夜中が近づくと、ランタンにろうそくを灯し、クリスマスキャロルや賛美歌を歌いながら田舎道を数キロ歩き、古い石造りの廃屋に向かいます。そこでは、かいば桶を使ってキリスト降誕の場面が再現され、人々はひざまずきひたむきに祈ります。賛美歌が12月の凍てついた空に温かく響きわたります。この場所に、歩けるものはすべて集まるのです。(私大川は、ドイツの田舎村にこういう習慣のある教会に行ったことがあります。)

その町には、昔からの言い伝えがありました。もしクリスマスイブに町の住民が一人残らず集まり、ゆるぎない信仰をもって祈りを捧げるなら、教会の鐘が夜中の12時を打ったまさにその時、キリストの再臨が目の前で実現するということです。(「再臨」については、来年早々、日曜礼拝でお語ります。)

こうして、500年の間、町民はその石造りのあばらやに集まり祈ってきましたが、キリストの再臨はいまだに起こっていませんでした。

その話の中で、主要な登場人物の一人が、こんなふうに分られる場面があります。「あなたはクリスマスイブに、本当にこの町にキリストが再臨すると信じてるかい？」彼は悲しそうに首を振って答えます。「いや、信じてないね」「それなら、どうして毎年あそこに行くんだい？」するとちょっと笑って、彼はこう言うのです。「もしもその再臨が起こった時、おれだけがそこにいないっていうのもね……」

いろいろな人に接する時、私たちにもこのほんのささやかな<信じる心>が必要になります。精神的に不安定な子ども、非行に走るティーンエイジャー、問題を起こす若者たち…。それに、私たち自身のパートナーや友人、仕事上のお客がアルコールや麻薬におぼれたり、落ち込んで自殺をはかっています。

さあ、ちょっぴりでもいいから、心に希望を抱いて、あの場所に戻ってみましょう。(これは、「こころのチキンスープ」からの引用です。この町で、昔、大リバイバルが起きました。このコラムは、私たちに大切なことを教えてください。)